

2 児童アンケート・保護者アンケートによる評価

(1) 児童アンケートによる調査結果

令和6年度12月 学校教育活動等に関する児童アンケート調査						令和6年12月	
						全校	
<評価> A：よくあてはまる（4点） B：どちらかといえばあてはまる（3点） C：あまりあてはまらない（2点） D：あてはまらない（1点）						90名中 90名回答	
						回答率	100%
番号	内 容	A	B	C	D	評価点	令和6年1学期比
1	まわりのひとのことをかんがえて、はなしたりこうどうしたりしていますか。	48%	46%	0%	0%	3.5	0.2
2	はやね・はやおき・あさごはんができていますか。	34%	42%	0%	4%	3.3	0.1
3	きもちのよいあいさつや「はいっ」のへんじができていますか。	49%	36%	0%	3%	3.5	0.1
4	じゅぎょうは、わかりやすくてのしいですか。	62%	28%	0%	1%	3.7	0.1
5	げんきよくあそんだり、うんどうしたりしていますか。	76%	18%	0%	1%	3.8	0.3
6	せんせいたちは、あなたのはなしをよくきいてくれますか。	72%	23%	0%	1%	3.7	±0
7	ひなんくんれんをしんけんにしたり、あんぜんにきをつけたりして、じぶんのいのちをたいせつにしていますか。	84%	16%	0%	0%	3.8	-0.1
8	あなたのがっきゅうでは、みんながなかよくきょうりょくできていますか。	61%	31%	0%	3%	3.6	±0
9	こふじちいきのことがすきですか。	87%	12%	0%	0%	3.9	0.1
10	がっこうがたのしいですか。	76%	19%	0%	1%	3.8	***
11	がっきゅうではなしいのとき、じぶんのいけんをいえていますか。	42%	38%	0%	3%	3.4	***
12	がっこうであったことを、おうちのひとにはなしていますか。	64%	20%	0%	7%	3.6	***

***は、1学期に評価していない項目（R 5は実施）

(2) 保護者アンケートによる調査結果

令和6年度 学校教育活動等に関する保護者アンケート調査								
				回答対象者数				令和6年12月
<評価> A：よくあてはまる (4点) B：どちらかといえばあてはまる (3点) C：あまりあてはまらない (2点) D：あてはまらない (1点)				90 名中 67 名回答				
				回答率	74%			
番号	内 容		A	B	C	D	評価点	対令和6年度1学期
1	お子さんは、思いやりの心を持って周りの人と接している。		54%	45%	1%	0%	3.5	0.1
2	お子さんは「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付いている。		51%	30%	18%	1%	3.3	±0
3	お子さんは、「あいさつ」や「返事」ができています。		48%	42%	10%	0%	3.4	0.1
4	お子さんは、授業が分かりやすく楽しいと言っている。		37%	52%	6%	4%	3.2	±0
5	お子さんは、元気よく遊んだり運動したりしている。		64%	22%	13%	0%	3.5	±0
6	先生は、児童一人一人をよく理解しようとしている。		58%	36%	4%	1%	3.5	±0
7	学校は、避難訓練の充実など児童の安全確保のための適切な配慮を行っている。		63%	36%	0%	1%	3.6	0.1
8	学校は、学校・学級便りや各種便り、ホームページ、見守りメール、家庭への連絡等で積極的に情報を発信している。		60%	39%	1%	0%	3.6	0.1
9	お子さんは、学習や地域の活動や行事を通して、地域に親しみを感じている。		52%	45%	3%	0%	3.5	0.2
10	お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしている。		55%	37%	7%	0%	3.5	***
11	学校は、発達段階に応じて、人権尊重の意識を育てている。		54%	45%	0%	1%	3.5	***
12	先生は、保護者の相談に適切に応じている。		49%	46%	4%	0%	3.4	***
13	学校は、コミュニティ・スクールとして家庭・PTA・地域と連携した教育を行っている。		51%	48%	0%	1%	3.5	***
自由記述欄に寄せられた保護者からの意見								
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの好きな活動を楽しみ取り入れてくれて、一つの楽しみがたくさん繋がると思うので、子どもの意欲につながる活動をこれからも大切にしたいと思っています。 ・個々に合わせた柔軟な対応をしていただける。 ・学校給食費が、無料化されてから子どもたちが、給食の配膳をする際に、おかず等の量を調整しながらつぎわけているので大変と言っていました。育ち盛りの子どもが給食を満足に食べられず常に量を気にしながら給食の配膳をするというのは、おかしいと思うので、以前のように給食費の集金を再開するようにして頂きたいと思います。 ・特に1年2年の教室は、防犯機能が心配です。 ・音楽発表会では、楽器を決める際に揉める事になり、一人一人がやってみたい楽器があると思うので、一人一人の意見に耳を傾けて頂き出来るだけ自分達がやってみたい楽器をさせてあげられるようにしていただきたいです。また、上着を着て参加するのが普通だと思う。 ・いつもお世話になっております。感謝しかないです。 ・先生は、本当に子どもたちの事をすぐ考えてくれ、理解してくれております。とてもすばらしいと思います。これからも宜しくお願いします。 ・子どもたちの事をしっかりと聞いてくれていて、理解してくれていると感じます。一人一人のどこが良かったという事も分かってくれていて、その部分を伸ばしたいと言うお考えには賛成です。今後とも宜しくお願いします。 ・校内音楽会で先生方のパプリカ、子ども達がとても喜んでいました。業務の後に練習されたんだと思うと頭が下がります。子ども達の演奏も歌声も本当にすばらしく感動しました。ありがとうございました。 ・スウェットではなく、せめてジャージでいてほしい。 								

***は、1学期に評価していない項目 (R5は実施)

(3) 児童アンケート結果の考察

- 「小富士地域のことが好きですか。」の項目では、Aが42%、Bが12%、C、Dが0%という結果であり、評価が一番高かった。1学期より評価点も0.1%増えている、児童が地域の方々に見守られ、育てられていることが伺える。子どもたちが地域のことが大好きと思える公民館祭や、お祭り集会など、学校運営協議会の方々を中心とした行事も地域には多く、参加率も高い。
- 1学期と比較して、全体的にも評価点は高くなっている傾向である。特に、「周りの人のことを考えて、話したり行動したりしていますか。」「元気よく遊んだり、運動したりしていますか。」の項目は、0.2以上、上がっている。道徳科の時間を中心に思いやりについて考えたり、普段の異学年同士の関わりの中で学んだりすることも多いと考える。また、体育委員会を中心とした、外遊びの定着、マラソンやなわとびの実施に関する工夫を図り、体力づくりにつなげる。
- 「自分の考えや思ったことを発表できていますか。」の項目の評価が一番低い。普段の授業の中で、主体的に学ぶための手立てや授業改善を意識する必要がある。しかし、全校集会などの場で感想や自分の考えを発表する児童が増えてきている。安心して意見が言える学級づくりを基盤とし、ICT活用と並行して、思いを書いたり伝えたりする活動を取り入れることを継続していく。
- 「避難訓練を真剣にしたり、安全に気を付けたりして、自分の命を大切にしていますか。」の項目が、1学期より下がっている。2学期の避難訓練からだいぶ時間が経ったから意識が薄れてしまったからかもしれないが、普段、交通ルールを守ることや廊下の歩行など、日常で安全に気を付けることで命を大切にすることに意識をつなげていきたい。
- 「早寝・早起き・朝ごはん」ができていますか。」が0.1ポイント高くなったが依然として評価点は低い。家庭との連携が不可欠な項目なので、各種便りや懇談で呼び掛けるなど、保護者と協力できるようにしていきたい。

(4) 保護者アンケート結果の考察

- 1学期と比較して、全体的にも評価点は高くなっている傾向である。避難訓練等の実施や学校便り・ホームページなどによる情報発信の項目は、評価が高かったことから、今後も、地域や関係諸機関と連携しながら教育活動を進め、適切かつ迅速に情報を発信していくことで、信頼関係をより深めたい。
- 児童の意識の傾向と関連して、保護者の意識としても「お子さんは、学習や地域の学習を通して、地域に親しみを感じている。」の項目の評価は、1学期と比較して一番上がっており数値も高い。コミュニティ・スクールとして、積極的に地域や家庭と連携した教育を行った成果であると考え。地域・家庭が、本校教育に協力的であることは、本校の強みである。その期待に応えることができるよう、今後も、積極的に地域・家庭に開いた教育を継続していく。
- 「お子さんは、授業が分かりやすく、楽しいと言っている。」の項目は、昨年度より0.1ポイント上がり、1学期との比較では現状維持ではあるが、評価点は一番低い。また、「あてはまらない」と回答した割合も他の項目と比較して多いことも課題であると考え。授業時間は、学校生活の大半を占めている。その時間に、児童全員が楽しく主体的に学ぶことができるよう、授業改善に引き続き取り組んでいく。また、児童同士の人間関係の早期課題解決をしていき、安心して発言したり自己表現したりすることができる学級・学校づくりに努めたい。
- 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付いている。」の項目は、例年児童・保護者ともに評価が低い。基本的な生活習慣の定着に向けて、学校で継続して指導や支援をしていくとともに、取組を保健便りやホームページ等で紹介したり、家庭でも意識できるような指導や声掛けをお願いしたりしていきたい。また、学校保健委員会で取り上げることも検討したい。

3 学校運営委員会による評価

(1) 構成メンバー

	氏名	役職名		氏名	役職名
1	西山 雅啓	小富士公民館運営委員長 小富士スポーツ少年団団長	10	高橋 建太郎	前小富士小学校PTA会長
2	越智 光三	小富士公民館長	11	合田 泰之	土居中学校長
3	三好 祥生	小富士小学校PTA会長	12	村上 由美子	小林保育園長
4	岡 幸平	中村自治会長	13	三木 啓志	小富士消防団副分団長
5	三木 良郎	小林自治会長	14	山内 清徳	警察協助力員
6	石田 英雄	藤原自治会長	15	安藤 幸夫	小富士公民館運営委員
7	森田 健	主任児童委員	16	加地 百代	小富士公民館主事
8	鈴木 裕子	人権擁護委員(教員OB)	17	鈴木 幸徳	校長
9	近藤 智広	元PTA会長			

(2) 実施回数 年間 5回

- (3) 実施状況
- 第1回 令和6年5月9日 委員15名、事務局1名、CS担当教員1名、教職員8名
- 第2回 令和6年7月9日 委員14名、事務局1名、CS担当教員1名
- 第3回 令和6年9月6日 委員15名、事務局1名、CS担当教員1名、教職員2名
- 第4回 令和6年11月22日 委員11名、事務局1名、CS担当教員1名、
関係団体12名、教職員3名、保護者1名
- 第5回 令和7年2月6日 委員13名、事務局1名、CS担当教員1名、教職員2名

(4) 学校運営協議会委員(校長を除く)評価結果と考察

<市内共通項目> (回答人数: 16名中12名) (回答率: 75%)		評 価				総合 評価
		4	3	2	1	
1	学校の教育目標の達成に向けて具体的な目標を設定し、校長を中心に組織的に学校運営や教育活動を行っているか。	8	4	0	0	3.6
2	自己評価結果を分析して具体的な改善方策を実施し、課題が改善されているか。	4	8	0	0	3.3
3	教育活動や評価結果に関して、分かりやすく情報提供できているか。	9	3	0	0	3.8
4	保護者、地域住民は、学校運営に積極的に参加・協力しているか。	2	10	0	0	3.2
5	学校運営協議会は、適切に運営されているか。	5	7	0	0	3.4
<学校独自の評価項目> ※ 危機管理の徹底・施設設備の整備						
6	教職員は生き生きと意欲的で、いじめのない明るい学校づくりに取り組んでいるか。	7	5	0	0	3.6
7	学校は、安全で安心な学校づくりを進めているか。	7	5	0	0	3.6
8	学校は、保護者や地域と連携して、ふるさとを愛し誇りに思う児童の育成に努めているか。	10	2	0	0	3.8
【具体的改善策等の提言】						
○ 特に改善点はないが、学校からの要望等があれば聞きたい。						
○ 今後は、児童数が減っていくので地域・PTA・愛護班・学校の連携をしっかりとってほしい。						
○ 今年度はあまり協力できなかったため、来年はなるべく参加したい。						